

★ 歌手クミコ プロフィールと主な出来事 ★

2005年まで 第4版(増訂版) 2006/1/7 クミコ音楽酔星

★ 1954年	昭和29年9月26日、母親の里帰り出産で、茨城県水戸市に生まれる。		
★	少女時代を東京・世田谷区、埼玉県川口市(小学2年まで)、静岡県藤枝市(小学3年から中学2年まで)、埼玉県浦和市(中学3年だけ)で、そして高校から大学時代を埼玉県越谷市で暮らす。		
★	演劇を志し早稲田大学に進学。学生劇団「木霊(こだま)」に所属し芝居を始める。不条理劇の中で唄うシーンがあり、生きている実感と唄で表現することに目覚め劇団を退団。		
★	雑誌に載っていた舞台芸術学院の「シャンソン・カンツォーネ教室」に通う。シャンソンはほとんどさぼったそうだが、初めてカンツォーネを教わった時に、音楽のすごさを感じる。		
★	大学卒業前、友人に誘われバンドにピアニストとして参加。その後、バンドを辞めたその友人の代わりにボーカルを担当する。		
★ 1978年	10月、予選を勝ち抜き、第16回「ポピュラーソングコンテスト」つま恋本選会に出場。ボーカルを斉藤久美子(=クミコ)がつとめたホンキートンクの「どしゃぶり ずぶぬれ しどろもどろ」は優秀曲に入選する。		
	11月、日本代表の一人に選ばれ、第9回「世界歌謡祭」にソロ歌手、斉藤久美子として上記の曲で出場したが、予選で落選し本選に進めなかった。レコード会社から予定されていた収録済みのデビュー盤はボツになり、挫折を味わう。この時24歳だったが、2002年の「わが麗しき恋物語」がきっかけとなって広く世に知られるようになるまで、さらに24年の歳月を要することになる。(「どしゃぶり...」については当HPの ディスコグラフィ/参加盤2 をご覧下さい。)		
★ 1981年	バンドのリーダーと結婚('88年離婚)。		
★ 1982年	6月、27歳の時、日本に於けるシャンソニエの老舗だった銀座・「銀巴里」のオーディションに合格。前代未聞のオリジナル曲での応募であり、シャンソンは「サン・トワ・マミー」しか知らなかった状態での異例の合格だった。クミコの何が耳の肥えた審査員に訴えるものがあつたのだろう。		
	プロとしての活動をスタートするが、安いギャラに人生の厳しさを感じる。本人によれば「居候/窓際/自転車操業/隙間」シャンソン歌手として、必死になって先輩たちが唄うシャンソンなどを聴いてレパートリーを増やしていく。同時に日本と海外の古い唄、歌謡曲、ポップスなどを取り上げ、今に続く「唄のチャンプルー状態/ごった煮状態/筑前煮状態」で活動していく。		
★ 1983年	5/22	TBSテレビ「沢田研二ショー」に出演。「パリ野郎」(with 嵯峨美子、沢田研二)と「シャレ男'83」を唄う。	
	11/7	「TOMATO REVUE」 TAKE OFF 7 (渋谷・PARCO 7F)	
★ 1985年	12/20-'86/1/26	「マック・ザ・ナイフ」に出演。(演出 佐藤 信、主な出演者 林隆三、順みつき、穂谷友子、渡辺えり子、斎藤晴彦。無名時代の平栗あつみ、中島啓江、豊川悦司も出演) 青山・スパイラルホール 柿落とし公演	
★ 1987年	ミュージカル「レ・ミゼラブル」の日本初演にアンサンブルの一員として出演。(主な出演者 鹿賀丈史、滝田栄、斉藤晴彦、内田直哉、野口五郎、岩崎宏美、斉藤由貴、鳳 蘭、島田歌穂) 帝国劇場		
	7/25	高橋久美子の名でLPアルバム『POKKOWA PA ?』をリリース。32歳にしての遅いデビュー盤だった。	
★ 1980年代後半から	渋谷「ジャンジャン」に出演し始める。 10時劇場「六輔七転八倒九百円十時」へのゲスト出演、10時劇場「高橋久美子の唄う『音楽図鑑』」、「世紀末コンサート」、「高橋クミコの『ステキな唄』」シリーズなどを1999年まで続ける。		
★ 1988年	新橋のシャンソニエ「アダムス」に出演し始める。以後16年間、毎月1回の出演は続いた。		
	12/25	高橋久美子クリスマスコンサート 1988 渋谷ジャンジャン	
★ 1989年	6/15	コンサート'89「世紀末症候群」 共演 篠井英介 青山円形劇場	
★ 1990年	3/14-15 芝居仕掛けのコンサート「恋のあとで...」 青山円形劇場		
	12/8	「銀巴里」ラスト出演。	
	12/13	「前略、越路吹雪様」 共演 永六輔 青山円形劇場	
	12/29	「銀巴里」閉店。(1951/11/19 開店以来の39年の歴史に幕を閉じる。) 9年間出演した。	
★ 1991年	4/4	高橋クミコ '91 SPRING コンサート「唄ってよ、九ちゃん！」 ゲスト 永六輔 青山円形劇場 高橋久美子から高橋クミコに改名。永 六輔の勧めによる。	
	5/31-6/6	芝居仕掛けのコンサート「浜辺のもてないおんな達」 共演 篠井英介 渋谷・PARCO SPACE PART3 構成・演出 宮本亜門、音楽監督 三浦高広 大阪・近鉄アート館、名古屋・テレビアホールでも公演	
	10/24	「Moon Rain ~雨降りみたいな月の光の中で~」 共演 篠井英介、宇野 萬 青山円形劇場	
★ 1992年	9/8-10	「夜想曲~ノクチュルヌ」 共演 篠井英介 青山円形劇場	
	12/10	日本テレビ「2×3が六輔」に出演。「ラストダンスは私に」と「帰ろかな」を唄う。	
★ 1993年	11/6-7	「ステキな唄~詩を忘れた大人たちへ~」 俳優座劇場	
	11/	「篠井英介・高橋クミコ デリシャスコンサート」 金沢ジャンジャン	
★ 1994年	4-9月	NHK総合テレビ「人間マップ」 AMON COMEONエンディングテーマとして「まち」が流れる。	
	9/3-4	独唱会「まち'94」 PARCO劇場	
	12/16	高橋クミコの名でCDアルバム『まち MACHI』をイースタンゲイルよりリリース。	

銀巴里時代

ジャンジャン時代

アダムス時代

★ 1996年	4/24	CDアルバム『世紀末の円舞曲(ワルツ)』を東芝EMIよりリリース、メジャー・レーベル・デビュー盤である。選曲がユニークで、クミコ・ワールド満載の快盤だ。		
		4/24-25 CD発売記念コンサート「世紀末の円舞曲」	銀座・博品館劇場	
		6/12 CD発売記念コンサート「世紀末の円舞曲」 6/ 「高橋クミコ vs 篠井英介 世紀末コンサート」	大阪・扇町ミュージアムスクエア 金沢市民芸術ホール	
★ 1997年	5/26	出演していた新宿「パラディ」の店主・田中隆文氏、交通事故により死去。享年46歳。		
		12/26 高橋クミコ・コンサート「世紀末の円舞曲」	水戸芸術館ACM劇場	
★ 1998年	春	声帯から出血し、手術を受ける。歌手としての危機に直面する。		
		10/25 「浅草の屋根の下」	Gallery ef	
		11/7 「うた」を唄う	南青山MANDALA	
★ 1999年		3/13 高橋クミコの「ステキな唄」	水戸芸術館ACM劇場	
		4/28 シャンソンと落語の会	東京芸術劇場小ホール	
		6/18-19「SYAPPO！」	南青山MANDALA	
		7/6 高橋クミコ・高関絢子ジョイントライブ	高円寺・Show Boat	
		作詞家・松本 隆と出会う。アルバム『世紀末の円舞曲(ワルツ)』を聴いて興味を持った松本 隆が、渋谷の小さなライブハウスへ出向き、氏の作詞した「情熱」、「鳥の歌」などをクミコが唄うのを聴いて、深く心を動かされたようだ。		
		9/5 「世紀末の歌姫 高橋クミコ と共に」 上田混声合唱団第22回定期演奏会 上田市文化会館 9/17 「空を飛びたいコンサート 出会い 1999」	青山円形劇場	
	12/29 高橋クミコの「ステキな唄」ラスト・ライブ	渋谷ジャンジャン		
★ 2000年		3/13 「詩・歌・唄！うたを唄う」	南青山MANDALA	
		4/9 「風待ミニコンサート vol.1」	南青山MANDALA	
	4月	公式サイト「茶目子劇場」がオープンする。 http://www.puerta-ds.com/kumiko/		
	4/25	「ジャンジャン」閉館（1969年開館以来の31年の歴史に幕を閉じる。）約11年間出演した。		
		5/23 「風待ミニコンサート vol.2」	南青山MANDALA	
	6月	スペイン、カタロニア・サーキットで行われた世界2輪グランプリ・カタロニア大会に招待され、松本 隆作詞になるカタロニア民謡「鳥の歌」を歌い全世界へ向けて生放送された。		
		7/3 「いきあたり、ばったり、クミコライブ」	高円寺・Show Boat	
	7/6	松本 隆作詞のオリジナル曲「接吻」が、テレビ朝日系連続ドラマ「京都潜入捜査官」(主演 名取裕子、渡辺えり子)のエンディング・テーマ曲として流れ始める。		
	8/9	シングル盤「接吻」を東芝EMIよりリリース。松本隆・鈴木慶一共同プロデュース。 これを期に高橋クミコから「クミコ」に改名する。		
		9/14 NHK総合テレビ「スタパdeライブ」に出演し、「情熱」、「接吻」、「鳥の歌」を唄う。		
	9/20	アルバム『AURA(アウラ)』を東芝EMIよりリリース。 20年ぶりに一人の歌手のプロデュースを引き受けたという、松本 隆の全曲作詩になるアルバムである。 長年、その素晴らしい歌唱により、根強いファンに支持されながら小さなスペースで唄ってきたが、広く世に知られるところまでは行かなかった。松本 隆との出会いはその壁を打ち破る第一撃となったと思う。		
	10/5	NHK総合テレビ「トップランナー」の松本 隆の回に出演。 「情熱」、「かくれんぼ」、「銀幕の雨」、「接吻」を唄う。 「アダムス」の観客が増えていく。「女っぷり」が上がっていった。		
		10/20 TBSテレビ「NEWS23」(キャスター 筑紫哲也)に出演。「接吻」、「鳥の歌」		
		10/21 「KUMIKO LIVE AURA」	世田谷パブリックシアター	
		12/22 AIR-G' 時計台アコースティックライブVol.17 ~クミコ	札幌時計台2階ホール	
	★ 2001年		2/1 「クミコ LIVE 2001」	南青山MANDALA
		2/9	人気CM、ハウス・クリームシチュー・ミクスのイメージ曲「お帰りなさい」を東芝EMIよりリリース。	
		3/21 クミコ ライブ「お帰りなさい」	大阪・心斎橋クラブクアトロ	
		4/13 クミコの「春の唄会」(ザ蟹と共演)	東京お台場・TRIBUTE TO THE LOVE GENERATION	
		5/21 「クミコ五月晴れライブ」	高円寺・Show Boat	
7月		エイベックスの新レーベル「avex io(イオ)」に移籍。		
	7/23 迷宮のシャンソニエ「アダムス」-クミコ・ミニライブ	新橋「アダムス」		
	9/1 「クミコの唄会」	いちかわ西洋館倶楽部		
	10/11 「クミココレクション 2001・秋」	南青山MANDALA		
	12/27 「クミコ2001年ラストライブ」	高円寺・Show Boat		
★ 2002年		7/30 「夏色」ライブ	南青山MANDALA	
		9/17 「ニューアルバム先取りライブ」	南青山MANDALA	
		11/11 「クミコ・ライブ」	高円寺・Show Boat	
	11/20	アルバム『愛の讃歌』を avex io よりリリース。 収録曲の一つ「わが麗しき恋物語」が「聞くものすべてが涙する」とのレコード会社によるキャッチフレーズの下、広く話題を呼ぶ。発売直後から、朝のラジオのパーソナリティ番組(「うえやなぎまさひこのサプライズ！」ニッポン放送)で、長い曲にもかかわらず連日全編流された反響も大きかった。		
	11/20	マキシ・シングル盤「幽霊・わすれな歌」を avex io よりリリース。		
12/12	アルバム発売記念コンサート「愛の讃歌」	渋谷・パルコ劇場		

★ 2003年	1/30	NHK総合テレビ「首都圏いきいきワイド」に出演。 「わが麗しき恋物語」、「生きとし生けるものはみな」、「こころ」		
	2/5	「わが麗しき恋物語」がシングル盤でリリースされる。評判が大きかったため、急遽シングル・カットされた。		
		「アダムス」でのライブの日、開演前に人々の列ができるようになり、満杯状態になっていく。満杯といっても小さい店だから詰めても45名ほどだが、かってなかった盛況である。立ち見の出る日もあった。		
		2/28	クミコライブ in OSAKA「わが麗しき恋物語」	大阪・心斎橋クラブアトロ
		4/29	NHKハイビジョン「さくら 2003年 春」に生中継出演。北海道松前町の夜桜の前で「こころ」を唄う。	
		5/2	TV東京「たけしの誰でもピカソ」に出演。「わが麗しき恋物語」	
		5/17	NHK総合テレビ「いっと6けん」に出演。「わが麗しき恋物語」	
		5/23	「クミコ コンサート 2003」	横浜・関内ホール
			収容人員1,000人を超えるホールでの初コンサート。シャンソニエで客がたった一人だったことも経験した本人にとって、感慨深かったことだろう。	
		5/27	NHK総合テレビ「歌謡コンサート」に出演。 「わが麗しき恋物語」、生放送終了後のアトラクションで「さとうきび畑」を唄う。	NHKホール
		6/15	NHK・BS2「公園通りで会いましょう」(週間ゲスト・辛島美登里)の日替わりゲストとして出演。「わが麗しき恋物語」、「東横線」を唄う。辛島美登里の新曲「東横線」の1番を二人で別個に唄ったが、同じ曲・歌詞なのに唄が紡ぎ出す情景の色が全く異なるという興味深い共演だった。	
		6/24	「クミココンサート2003 わが麗しき恋物語」	仙台市青年文化センター シアターホール
		7/23	「サマー・ビュッフェショー」	東京プリンスホテル
		7/23	「クミコ・ライブ」	高円寺・Show Boat
		8/18	「クミコ ディナーショー」	東京プリンスホテル
		9/8	「クミコ ニューアルバム先取りライブ」	南青山MANDALA
		9月	より週1回レギュラーで、ラジオ番組「クミコのうるわしき恋物語」のパーソナリティをつとめる。放送局／静岡・栃木・信越・山陽・高知・西日本各放送、ラジオ大阪(2004年秋まで)	
		9/11	NHK総合テレビ「夢・音楽館」に出演。司会 桃井かおり、共演 五輪真弓 「恋人よ」(五輪真弓とデュエット)、「わが麗しき恋物語」、「アカシアの雨がやむとき」を唄う。 「恋人よ」も堂々たるものだったし、あの五輪真弓を笑いこぼさせた脱線トークも絶品だった。	
		9/25	アルバム『愛しかないとき』を avex io よりリリース。	
		10/7	TV東京「レディス4」に出演。「わが麗しき恋物語」、「さいごの抱擁」	
		10/15	発売の2003年11月号からマガジンハウスPR誌「ウフ。」に「クミコのうたものがたり」連載(2004年8月号まで)	
			ホールでのコンサートが増えていく。	
		10/18	アルバム発売記念コンサート「愛しかないとき」	福岡・イムズホール
		10/20	TV朝日「気になる」に出演。「さいごの抱擁」	
		10/20	初エッセイ集「ヘクタレナイ 人生はまわり道したっていいじゃない」を主婦と生活社より出版。公式サイト「茶目子劇場」に3年間連載した「クミコ日記」から選択・再編したもので、独特の感性と文体が魅力的である。	
		10/28	アルバム発売記念コンサート「愛しかないとき」	渋谷・シアターコクーン
	10/30	アルバム発売記念コンサート「愛しかないとき」	名古屋市芸術創造センター	
	11/1	「第12回 コンサート for ユニセフ」	横浜・青葉公会堂	
	11/6	アルバム発売記念コンサート「愛しかないとき」	札幌・道新ホール	
	11/12	NHK総合テレビ「わたしはあきらめない」に出演。司会 長嶋一茂、安部みちこ		
	11/18	ファンサイト「茶目子劇場私設調査部」がオープン。(by Lazybones) 歴史的資料満載! http://homepage3.nifty.com/Lazybones/Chameko/index.htm		
	11/22	シングル盤「さいごの抱擁」を avex io よりリリース。作詞・松本隆、作曲・平井夏美による書き下ろし。		
	11/22	アルバム発売記念コンサート「愛しかないとき」	大阪・中之島・リサイタルホール	
	11/30	「クミコ・ライブ2003 ～わが麗しき恋物語～」	千葉市若葉文化ホール	
	12月	「そごう・西武のメモリー・クリスマス クミコ クリスマス・コンサート」 12/14 札幌西武ロフト館7階 五番館赤れんがホール、12/17 池袋西武イルムス館2階 特設会場、 12/19 そごう横浜店 3階ミレニアムコート、12/21 そごう広島店 特設会場、12/22 そごう神戸店9階 特設会場		
	12/15	NHK・BS2「公園通りで会いましょう」の週間ゲストとして5日間出演する。司会 平野 文		
	-19	15 篠井英介 「さいごの抱擁」、「愛の讃歌」、「朝顔の露」		
	日替り	16 原田直之 「雨降る街-Nantes」、「祖谷の粉ひき唄」(with 原田直之)		
	ゲスト	17 米良美一 「こころ」、「煙草屋の娘」		
		18 覚 和歌子 「The Waltz」、「わが麗しき恋物語」		
		19 伊奈かつべい 「ラストダンスは私に」、「再会」(with 伊奈かつべい)、「愛しかないとき」		
	12/23	クミコ クリスマス・ディナーショー	東京・高輪プリンスホテル	
	12/25	「AIR-G 時計台アコースティックライブ 50回記念スペシャル」	札幌時計台2階ホール	
★ 2004年	1/26	新橋「アダムス」でのラスト・ライブ		
	2/3	「アダムス」の店主、早瀬かず椰氏急逝、享年54歳。16年間出演し続けてきた店だったが、突如幕は下ろされた。この店主抜きにはありえない店だった。(1978/2/1開店以来の26年の歴史に幕を閉じる。)		
		2/6	NHKテレビ 大阪「4時です 上方倶楽部」に出演。「愛の讃歌」、「さいごの抱擁」、「わが麗しき恋物語」	
		2/8	シャンソニエライブ (3/6、4/15、6/18、11/18も)	吉祥寺「ラ・ベル・エボック」
		2/21	新宿・朝日カルチャーセンター 谷川賢作「コトバとリズムが会おうとき」にゲスト出演。	
	2/27	クミコ ディナーショー	別府湾ロイヤルホテル	

★ 2004年 続き	3/12 「クミコ コンサート 2004 春」	三島市民文化会館
	4/1 TV朝日「徹子の部屋」に出演。「わが麗しき恋物語」	
	4/8 「クミコ コンサート 2004 春」	東京・五反田 ゆうぼうと
4/9	より隔週金曜(2005年4月から隔週土曜)の産経新聞大阪版夕刊に、エッセイ「茶目子のつれづれ」を連載。現在も継続中。	
	4/18 「クミコ コンサート 2004 春」	大阪・シアタードラマシティ
5/7	NHK総合テレビ「スタパdeライブ」に出演。「わが麗しき恋物語」、「愛の讃歌」、「愛しかないとき」、「ラストダンスは私に」、「帰りに来ぬ青春」、「幽霊」	
	5/9 「クミコ コンサート 2004」	浜松フォルトホール
	5/14 「クミコ コンサート 2004」	神奈川・グリーンホール相模大野
	5/20 「クミコ コンサート 2004」	福岡・IMSホール
	5/28 「クミコ コンサート 2004」	千葉・習志野文化ホール
	6/2 NHK・BS2「BSふれあいホール」に出演。司会 服部真湖 共演 真琴つばさ 「愛しかないとき」、「サン・トワ・マミー」、「オー・シャンゼリゼ」(with 真琴つばさ)、「バラ色の人生」、「愛の讃歌」(with 真琴つばさ)	
	6/5 「クミコ コンサート 2004」	群馬・玉村町文化センター にしきのホール
	6/10 「クミコと米良美一 プライベートライブ」	南青山MANDALA
	6/26 「クミコ コンサート 2004」	横浜・関内ホール
	6/29 「クミコ コンサート 2004」	仙台市青年文化センター シアターホール
	7/11 「クミコ コンサート 2004」	兵庫県篠山市・たんば田園交響ホール
	7/12 NHK総合テレビ「生活ほっとモーニング」に出演。「サン・トワ・マミー」、「わが麗しき恋物語」(短縮版)	
	7/16 ニューアルバム発売記念「お披露目ライブ」	南青山MANDALA
7/28	アルバム『イカルの星 越路吹雪を歌う』を avex io よりリリース。	
	7/28 「クミコ コンサート 2004」	新潟県民会館
	7/29 「クミコ コンサート 2004」	長岡リリックホール
	8/21 「クミコ コンサート 2004 夏」	アミューたちかわ大ホール。
	8/29 「西洋館蝉しぐれライブ」	いちかわ西洋館倶楽部
	9/7 TV朝日「報道ステーション」(キャスター 古館一郎)に出演。「ちょっとおたずねします」	
	9/26 NHK・BS2「BS青春のポップス」に出演。(7/8 佐世保・アルカスSASEBOにて公開収録) 「幸せを売る男」、「愛の讃歌」、「オー・シャンゼリゼ」(with 菅原洋一、さわち美欧)	
	10/2 関西テレビ放送「いつでも笑みを！」に出演 司会 上沼恵美子 他	
	10/10 「トーク&ライブ~HAND TO HAND~」 共演 沢田知可子 東広島市酒祭りイベント 中央公民館前	
10/12	ファンサイト「BRAVO! kumiko fan site」がオープン。(by 山森一幸) http://www.autumn-leaves.jp/kumiko/	
	10/15 「クミコ コンサート 2004」	さいたま市民会館おおみや(大ホール)
11/3	「クミコ コンサート 2004 秋」 NHKによりテレビ収録される。 渋谷・シアター・コクーン	
11/3	ニューシングル「わたしは青空」を avex io よりリリース。 テレサ・テンなどに歌謡曲の名曲を数多く手がけてきた作曲家三木たかしがクミコに強い関心を抱き、「ぜひ唄ってもらいたい」と書き下ろした新作で、作詞は「わが麗しき恋物語」と同じ覚和歌子。 カップリングには作曲・来生たかお、作詞・来生えつこによる書き下ろし「ロづけ」を収録。	
	11/9 NHK総合テレビ「歌謡コンサート」に2度目の出演。「ラストダンスは私に」	
	11/12 「クミコ コンサート 2004 秋」	調布グリーンホール
	11/23 「クミコ コンサート 2004 秋」	山形県民会館
12/13	NHK・BS2で「わが麗しき恋物語 クミコ・ドラマティックコンサート」が放映される。 11/3 「シアター・コクーン」でのコンサートで唄われた20曲から、インタビューをはさんで14曲が再現された。 「ちょっとおたずねします」、「イカルの星」、「愛の追憶」、「織田一枝」、「黒いわし」、「ジジ・ラモローゾ」、「I Love You」、「UNO 誰が悲しみのバンドネオン」、「さいごの抱擁」、「わが麗しき恋物語」、「わたしは青空」、「幽霊」、「~アンコール~「愛の讃歌」、「ラストダンスは私に」	
	12/19 「クミコ コンサート 2004 秋」	島根県三隅町・石正(せきしょう)美術館
	12/22 「クリスマス クミコ デイナーショー」	大阪・ホテル阪急インターナショナル
★2005年	1/15 「クミコ 2005 in Tsuzuki コンサート」	横浜・都筑公会堂
1/27	NHK総合テレビ「夢・音楽館」に2度目の出演。司会 イッセー尾形 共演 Song for Memories(鈴木康博・山本潤子・細坪基佳) 「翼をください」(山本潤子とデュエット)、「わが麗しき恋物語」、「わたしは青空」	
	2/3 「クミコ ライブ」	南青山マンダラ
2/3	ファンサイト「クミコ音楽酔星」がオープン。(by おにま) http://www.alpha-net.ne.jp/users2/msuisei/kumiko/	
	2/5 「クミコと過ごす屋下がりの、バレンタイントーク&ミニライブ」 お相手 安倍寧 東京會館ロゼルーム	
	2/18 「クミコ コンサートTOUR 2005」	高知県民文化ホール
	2/25 「クミコ コンサートTOUR 2005」	愛知厚生年金会館
3/2-4	NHK・BS2「BSふれあいホール」に3日間出演する。司会 松田輝雄 (公開収録 2/14-16)	
	2 ヤドランカ 「わたしは青空」、「一日がもっと長ければ」(with ヤドランカ)、「一本の鉛筆」、 日替り 「夢で逢いましょう」(with ヤドランカ)	
	ゲスト 3 神田山陽 「茶目子の一日」(短縮版)、シャンソン講談「赤穂義士 春夏秋冬」(with 神田山陽)	
	4 美川憲一 「わが麗しき恋物語」、「人生は過ぎゆく」、「バラ色の人生」、「ろくてなし」(with 美川憲一)	

★ 2005年 続き	3/25 「クミコ コンサートTOUR 2005」	鹿児島県文化センター
	3/27 「クミコ コンサートTOUR 2005」	アクロス福岡 イベントホール
	3/29 よりNHK総合テレビの新番組「発見 ふるさとの宝」のエンディングテーマとして「ほほえみの唄」が流れ始める。	
	4/3 「クミコ コンサートTOUR 2005」	浜松フォルトホール
	4/6 DVD及びCDアルバム『わたしは青空-2004 コクーン・ライブ』を avex io よりリリース。 2004年11月3日渋谷BUNKAMURAシアター・コクーンで行われたコンサートのライブ盤。DVDはコンサートで唄われた全20曲、MC、特典映像を収録、CDは13曲にボーナストラック1曲を収録している。	
	4/9 「クミコ コンサートTOUR 2005」	桐生市立中央公会館市民ホール
	4/13 「クミコ コンサートTOUR 2005」	大阪・シアタードラマシティ
	4/16 「クミコ コンサートTOUR 2005」	札幌・道新ホール
	4/19 NHK総合テレビ「スタジオパークからこんにちは」に出演。「わたしは青空」 司会 渡邊 あゆみ、後藤 理	
	4/30 「クミコとN響の仲間たち」コンサート	サントリーホール
	5/3 NHK総合テレビ～NHK大阪80年記念～「NHK歌謡チャリティコンサート」に出演。「わが麗しき恋物語」 他の出演者は加山雄三、布施明、五木ひろし、福島明也、坂本冬美、藤あや子、岩崎宏美、華原朋美、 水森かおり 司会 藤田まこと、上田早苗 (収録4/7)	
	5/14 「クミコ コンサートTOUR 2005」	新潟市音楽文化会館
	5/21 NHK・BS2「名作平積み大作戦」でエミール・ゾラ『居酒屋』の一節を朗読(声のみ)	
	5/27 「クミコ コンサートTOUR 2005」	横浜・関内ホール
	5/28 RKBラジオ視聴者招待ライブ	福岡・太宰府天満宮文書館
	5/30 シャンソニエライブ (7/25、8/29、11/28も)	銀座「蛙たち」
	6/4 「クミコ コンサートTOUR 2005」	鳥取県民文化会館 小ホール
	6/10 「クミコ コンサートTOUR 2005」	盛岡市民文化ホール
	6/24 シャンソニエライブ (9/17も)	吉祥寺「ラ・ベル・エボック」
	6/26 「クミコ ライブ」	山梨県北杜市高根町ふれあい交流ホール
	9月 朝日新聞夕刊「オフステージ」コーナーに4回、エッセイを連載	
	10/2-4 につぼん丸クルーズ(横浜→鳥羽→横浜)にて船上ライブ	
	10/3 「50歳未満お断り STAGE(R)50」のサイトでクミコさんのブログが開始(閲覧は誰でも可能) http://www.stage007.com/bg_friend_list.php?userId=1000188	
	10/14 「クミコ コンサート 2005」	山口県周東町文化会館パストラルホール
	10/16 子規亭「道後寄席」	松山市立子規記念博物館
	10/18 NHK・BS2「BSふれあいホール」に3日間出演する。 司会 土居裕子 (公開収録 10/10-12)	
	-20 日替り ゲスト	18 都 はるみ 「わたしは青空」、「アカシアの雨がやむとき」、「北の宿から」、「小心者」(with 都 はるみ) 19 イッセー尾形 「織田一枝」、二人の寸劇、「ボン・ボワージュ」 20 宮川彬良 「わが麗しき恋物語」、「さっちゃん」、「からたちの花」、「手紙」(3曲はピアノ 宮川彬良)
	11/6 テレビ朝日「素敵な宇宙船地球号」に出演	
	11/11 NHK・BS2「素晴らしき音楽仲間」第49回 ～ラジオが生んだヒット曲～ に出演 「なごり雪」、「わが麗しき恋物語」	
	11/12 NHK・BS2「名作平積み大作戦」のナレーションに2度目の登場。太宰 治の「津軽」の一節を朗読(声のみ)	
11/16 シングル盤「さよならを 私から」を avex io よりリリース。カップリングには「ほほえみの唄」を収録。		
11/21 「クミコ ドラマティック コンサート 2005」	渋谷・シアターコクーン	
11/26 クミコ作詞・作曲・唄の主題歌「あの青い空へ～君のための夏」が流れる映画「二人日和(ふたりびより)」公開。 主演・藤村志保、栗塚旭。2006/2/10まで神田「岩波ホール」でロードショー。2006年1月より全国各地で公開		
12/6 NHK総合テレビ「発見 ふるさとの宝」に出演 (エンディングテーマ「ほほえみの唄」を唄っている番組)		
12/11 NHK総合テレビ「食彩浪漫」に出演 - 「いのちをつなぐ私の鍋」		
12/16 NHK・BSハイビジョンで「わが麗しき恋物語 クミコドラマティックコンサート」(2004/11/3)が再放送される		
12/16 カフェ・ライブ	札幌「Live&cafe Tone」	
12/17 クリスマス・ディナー・ライブ	札幌ロイヤルホテル	
12/19 シャンソン歌手、訳詞家、画家・高野圭吾氏、心不全により死去。享年71歳。 クミコさんの重要なレパートリー曲「幽霊」、「サンフランシスコの六枚の枯葉」などの訳詞を手がけられた。		
12/24 テレビ静岡・制作「テレビ寺子屋」放映初日。初めての講演「ヘクタレナイ」。以後、全国のテレビ局で順次放映予定		
12/26 NHK総合テレビ「スタジオパークからこんにちは」に出演。「ほほえみの唄」、「さよならを 私から」		

- ★ データとしては他に、ラジオ出演や新聞・雑誌掲載記事が多数ありますが、ここでは割愛しています。
- ★ 出演してきた主なライブ・スペース ◇ 銀座「銀巴里」※、渋谷「ジャンジャン」※、新橋「アダムス」※、新宿「港屋」※、新宿「パラディ」※、新宿「11区」※、青山円形劇場、南青山MANDALA、高円寺「Show Boat」、渋谷・富ヶ谷「さくらんぼ」、吉祥寺「ラ・ベル・エボック」、銀座「蛙たち」(すべて東京 ※印の場所は現在はない)
- ★ 尊敬する歌手 ◇ 越路吹雪、笠置シズ子、美空ひばり、ちあきなおみ他 ★ 最初のアイドル歌手 ◇ 坂本 九
- ★ 活動を共にしてきたプロデューサー ◇ 仙波知司(東芝EMI時代から avex io 時代の2005年3月まで)
- ★ 活動を共にしてきたピアニスト ◇ 三浦高広、上條 泉(現在に至る) ★ 所属事務所 ◇ プエルタ・デル・ソル(平栗敬史)

参考資料 ★ウェブサイト/「茶日子劇場」、「茶日子劇場私設調査部」、「亀さんのシャンソン丸かじり」
『ヘクタレナイ』(主婦と生活社)、『クミコのうたものがたり』(マガジンハウスPR誌「ウフ。」)、"自分の頭の中" 他
制 作 ★クミコ音楽酔星 <http://www.alpha-net.ne.jp/users2/msuisei/kumiko/>